

2023年12月9日、群馬県内児童養護施設卒園予定者スーツ靴寄贈事業を実施いたしました。本事業は、地区補助金活用事業でありニコニコBOX活用の奉仕事業です。前日夕方、伊勢崎プリオパレスに地域社会奉仕委員会らが集まり、事前確認。当日、午前9時にSAAの塩谷さん、永野さん、浅野さんと委員の久保さん、下田さん、高橋郁夫アドバイザーと五十嵐が集合し、打ち合わせ、受付をした。みらい奨学金説明会の受講者のご案内を加藤幹事が行い、9時30分から同説明会が2階で行われた。3階における受付に大和さんと宮澤さんにも加わっていただき、講演会場の確認等を講師の柴田会員と行った。写真撮影は由井さんを中心としたICT推進委員会に担当していただいた。午前11時に例会を開始。11時19分頃から寄贈式となった。今回の寄贈の対象は、群馬県内児童養護施設卒園予定者20名で、伊勢崎RACもタイピン・コサージュ・ストッキングを寄贈する共同事業となった。病欠等の関係もあり、参加者は生徒18名、施設長・職員20名、みらい奨学金奨学生2名、メイクアップ17名、伊勢崎ローターアクトクラブ4名、会員48名と協力店のAOKI店長・シューマートエリアマネージャー各1名、計111名。式典は2部構成。第1部は司会の下田副委員長の言葉で始まり、原会長による開催挨拶、内山RAC会長による共同実施者挨拶、原会長から10年の協力に対する感謝状授与をAOKI田代店長様とシューマートエリアマネージャー直井様(元店長)へ行った後、生徒ひとりひとりに会長・パスト会長・伊勢崎ローターアクトクラブ会長による手渡しによる寄贈を実施。生徒達は退室し、美清さん、丸山さん、唐澤さん、池田さんとSAAが案内して2階で着替え。着替えのお手伝いをそのまま案内の方々と伊勢崎ローターアクトクラブの4名で担当。着替えの間に、峰岸嘉尚群養協会長のご挨拶、各施設長によるご挨拶と紹介があり、着替えを終えた生徒が再入場して前に整列し、生徒代表が挨拶。それから、みらい奨学金奨学生2名からエールの言葉があり、食事となった。着替えに時間を要したため、食事の開始が予定より遅れ、12時44分頃に第1部の終わりの挨拶を小此木会長エレクトからいただいた。第2部は12時55分、会場を2階に変えて会員の柴田弁護士から演題「成年として羽ばたく君たちへ」、法教育と応援のメッセージ等を含む講演、群養協副会長の本間様からお礼のお言葉をいただき、原会長による閉会・点鐘をもって午後1時50分頃終了。その後、SAAは各着替えのゴミを分別回収した。また、着替えの手伝い担当者からハンガーが入っていない分があった旨の報告があり、AOKIに伝え、また、各施設に連絡を取り、年内に五十嵐が各施設に届けるなどした。

今回、施設側の要望の生徒全員にスーツ靴等を寄贈でき、また、10回目となるため、協力店のAOKI様・シューマート様に感謝状、更に、アクトと共同実施でき、行うべきことは一通り成されたと思います。本事業実施にあたっては、前回のご担当の安部さんに多くのご指導をいただき、また、いろいろな点で原会長、高橋郁夫アドバイザーのご助言をいただき、地域社会奉仕委員会の委員とSAA、ICT推進委員会、伊勢崎RAC、峯岸パスト会長、小此木会長エレクト、加藤幹事、宮澤さん、事務局角田さんにも多大なるご協力いただきました。皆様のご協力なしでは成し得ませんでした。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



原会長による開催挨拶



司会の下田副委員長



柴田弁護士の講演



上毛新聞掲載の記事